

- 2面 特別区民税・都民税の納税通知書の送付、平和祈念標語の募集ほか
3面 國際生物多様性の日、情報ボックス
4面 緊急事態宣言の延長、心にさくらプロジェクト、乳幼児のつどいほか



住民登録者数 280,977人
(うち外国人数 9,037人)
男 132,660人
女 148,317人
世帯数 158,796世帯

3年5月1日現在

めぐら区報

コロナは
怖いけど
がんだって
怖い！

なのにがん検診に行かないのは

なぜ？

自分はがんにならない
ような気がするから

2人に1人が
がんに



日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人が亡くなっています。がんは長年にわたり、死亡原因の1位を占めています。

コロナ禍で外出しない
方がいいと思うから

がんで亡くなるかた
は毎年約37万人



昨年の受診控えが原因でがんの発見が遅れ、今後はさらに増える可能性も指摘されています。コロナ禍でも検診に行くことは、不要でも不急でもありません。

検診でコロナに
感染しそうだから

医療機関の
感染予防対策は
万全です



医療機関は、消毒や換気など日本医師会等のガイドラインによる感染防止対策を講じているので安心です。

大切なのはわかるけど
お金がかかりそうだから

区の検診は
無料です

区は、勤務先などで検診を受ける機会のない区内在住者に、無料の検診を実施しています。



気になる症状がないから

初期のがんは
ほとんど症状がありません



自覚症状が出る頃は、がんはすでに進行しています。しかし早期のうちに治療することができれば、9割以上治るともいわれています。だからこそ定期的に検診を受け、いち早く発見することが重要なのです。

早期がんの5年相対生存率※
(2010~2012年診断例)

部位	5年相対生存率
大腸	99.1%
胃	97.7%
乳房	100.0%
子宮頸部	93.7%
子宮体部	95.6%

※相対生存率=治療でどのくらい
命を救えるかを示す指標

出典
がんの統計
2021年版
財團法人がん研究振興財團
(公)

区が実施している無料の各種検診・健診

4/1~4年3/31に 対象年齢になるかたへ受診券をお送りする検診・健診と、申し込みが必要な検診があります。詳細はホームページ(右コード)をご覧ください。

名称	対象	内容	受診期間
①大腸がん検診	40歳以上	便潜血反応検査ほか	6~11月
②胃がんリスク検査	区の胃がんリスク(ハイリスク)検査を未受診の40・45・50・55・60・65・70・74歳	血液検査(ヘリコバクター・ピロリ菌抗体、血清ペプシノゲン)ほか	
③肝炎ウイルス検診(B型・C型)	区の肝炎ウイルス検査を未受診の40歳以上	血液検査ほか	6月~4年2月
④子宮がん検診	20歳以上で2年度未受診の女性	視診、内診、細胞診ほか	
⑤子宮頸がん検診	平成12年4/2~13年4/1生まれで、2年度子宮がん検査を未受診の女性	X線検査、かくたん細胞診(一部のかたのみ)ほか	5月~4年2月
⑥肺がん検診	40歳以上	マンモグラフィ、視触診(任意)ほか	
⑦乳がん検診	40歳以上で2年度未受診の女性	内視鏡またはX線撮影(バリウム)ほか	5月~4年3月
⑧胃がん検診	2年度未受診の50歳以上	矯正視力・精密眼底・眼圧検査ほか	6~11月
⑨眼科検診	40・45・50・55・60・65歳	歯周病・虫歯・欠損歯の有無、こう合機能・口くう清掃状態検査ほか	6月~4年2月
⑩成人歯科健診	35・40・42・45・47・50・55・60・65・70歳		

①~⑤⑨⑩の対象者に、5月末に受診券をお送りします

※対象者で、受診券が届かない場合や勤務先で受診する機会がない場合はお問い合わせください

申し込みが必要な検診

申込先 総合庁舎本館3階健康推進課成人保健係
(〒153-8573目黒区役所〈住所不要〉、
☎5722-9589)

⑥肺がん検診 電話または窓口で受け付け

※2年度に受診歴があるかたは、5月末に受診券をお送りします

⑦乳がん検診 12/28(必着)までに、電話、ハガキ(乳がん検診希望と明記し、住所、氏名(ふりがな)、電話、年齢・生年月日を記入)、ホームページ(右コード)・窓口で受け付け

※昭和36年4/1~57年3/31生まれで、2年度未受診の女性には、クーポン券を5月末にお送りします

⑧胃がん検診 実施時期に、めぐら区報に掲載

